

利賀っ子だより



R 3 . 6 . 1 7

○ 朝の様子から

高学年の教室から美しいリコーダーの音が聴こえてきました。のぞいてみると「今日、音楽でリコーダーのテストがあるから練習をしている。」とのことでした。

テストの練習と言っていますが、同じパートを吹いたり、2部に分かれて吹いたり音の重なりを楽しんでいるように見えました。

低学年の教室に行ってみると、カーテンを閉めてこそこそと活動をしています。入っていくと「わあ、見付かった。」の声。

生活科の学習でおもちゃを作り、全校のみんなに遊んでもらう計画を立てたので、その準備をしているということです。みんなにはまだ秘密にしておきたいので、カーテンを閉めて活動しているということでした。



どちらも朝8時過ぎの様子です。先生から活動の指示があったわけではなく、朝一番に自分がそうしたいと思っただけの行動です。

こんな子供たちの姿は、学習の見通しをもたせる指導者とその活動の意味を理解している子供たちの関係があるからこそだと思いました。自分で目標を定め、進捗状況を確認し、学習方法を工夫していくことは、まさしく、新しい学習指導要領に示されている観点「主体的に学習に取り組む態度」に通じるものだと子供たちから学びました。

(高田 公美)